



令和5年度

# 学校だより

11月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校

電話 331-5123

FAX 331-5343

## 学校行事を通して身に付けていく力

副校長 佐々木 唯吉

朝の挨拶をしに校庭に出ると、ひんやりとした空気に包まれるようになりました。空を仰ぐと澄み切った青、そして、どこからともなく金木犀の心癒やされる香りが漂ってきます。秋が深まってきました。

10月21日(土)には、運動会が行われました。岩崎小学校では、コロナ禍の3年間は名称を「スポーツフェスティバル」として感染症対策を講じながら、競技の実施方法や内容を精選して行ってきました。「運動会」という名称に戻すのは、今の5・6年生が低学年の頃以来となります。昨年度までとの違いは、全校を赤白に分け、得点を競い合うところにあります。徒競走や団体競技、中高学年リレーを得点競技として実施しました。さらに、5・6年生の希望者から応援団を選出し、応援合戦がプログラムに入り、運動会を盛り上げました。

運動会当日は、どの子も真剣な眼差しで演技、競技に参加し、もてる力を存分に発揮していました。一人ひとりが徒競走やリレー、演技を最後まで一生懸命にがんばる姿に感動しました。練習から当日に至るまでに努力したことが、満足感や達成感を生み、それが自信につながっていきます。協力しながら取り組んだことが仲間との繋がりを強くし、今後の学級や学年での活動につながっていくことと思います。また、4年ぶりの応援合戦では、団長を中心として、みんなで仲間を、相手を精一杯応援していました。素晴らしい応援合戦が繰り広げられたことで、座席での応援にも熱を感じました。座席にいる児童も演技や競技をしている児童と一体となって取り組んでいる姿が多く見られました。

社会では、競争を伴う場面が多くなり、勝ち抜くことに重点が置かれがちです。運動会当日は、子どもたちが主役となって輝いている姿をご覧いただけたことと思いますが、「徒競走(リレー)では何位だった?」と、つい成績に目を向けがちです。しかし、勝った、負けたという結果だけではなく、目に見えない学びもあったはずです。こうした視点から、もう一度ご家庭でも運動会のお子さんのがんばりを振り返ってみると、また一つ行事を通して大きく成長した姿が感じられることと思います。

保護者の皆様には早朝よりのご参観、温かいご声援、そしてご協力をいただき本当にありがとうございました。今年の運動会では、多くのPTAサポーターの方にご協力いただきました。前日準備での会場設営、当日の団体競技でのお手伝い、学校周辺の見守り活動、運動会終了後には、きっとお疲れだったことと思いますが、テントの片付けやペグの回収、サッカーゴールの設置などを行っていただきました。例年以上に、片付けが早かったことも保護者の皆様のお力だと感じます。また、近隣の皆様には、練習期間から多大なご迷惑をおかけしたことと思います。本年度もPTAの方々、地域の方々に支えられ、無事に運動会を終えられたことに感謝申し上げます。

